

## 拒絶査定

特許出願の番号	特願 2 0 0 1 - 3 4 9 4 2 6
起案日	平成 1 6 年 1 1 月 2 日
特許庁審査官	前田 祐希 2 9 4 6 5 Q 0 0
発明の名称	記録媒体を備えた貯蔵装置および記録防止方法
特許出願人	三星電子株式会社
代理人	志賀 正武 (外 1 名)

この出願については、平成 1 6 年 7 月 9 日付け拒絶理由通知書に記載した理由によって、拒絶をすべきものである。

なお、意見書および手続補正書の内容を検討したが、拒絶理由を覆すに足りる根拠が見いだせない。

## 備考

出願人が意見書において主張している点について検討する。

本願発明の「記録防止情報」が記録媒体上に記録されたデータが所望しない記録または消去によって失われることを防止するものであることを主張している。

しかしながら、不本意な消去を防止することは、慣用技術である（例えば、特開平 6 - 1 2 7 8 8 号公報の【0 1 8 4】 - 【0 1 8 5】段落、特開平 6 - 2 5 9 8 8 7 号公報【0 0 3 7】段落、特開平 6 - 1 1 1 4 7 5 号公報の【0 0 0 9】段落、特開平 7 - 6 5 6 7 号公報の【0 0 4 3】段落参照）。

また、所望しない記録についても、上記慣用技術を鑑みれば、当業者が容易に想到出来得ることである。

したがって、先の拒絶理由通知（平成 1 6 年 7 月 9 日付け）で引用した引用例および上記慣用技術より本願構成は、当業者が容易に想到出来得ることである（理由 1）。

---

上記はファイルに記録されている事項と相違ないことを認証する。

認証日 平成16年11月 4日 経済産業事務官 高瀬 清士